



沢辺税理士事務所通信

令和 4 年 4 月 1 日号
NO.098

(今月も)ウクライナ問題雑感

この 1 ヶ月間の私の頭の中は、大学生になり一人暮らしする息子のことと、ウクライナ問題（+頭の片隅にカーブ）でいっぱいでした。ですので今回もウクライナ問題の雑感を書かせていただきます。

まず、ウクライナの人道支援をされたい方は、日本ユニセフ協会や国連 UNCHR 協会へ寄付する方法があります。他にも泉佐野市が**ふるさと納税扱いで、泉佐野市経由でウクライナ支援金口座へ寄付**する窓口を開設しています。探せば他にもあるかもしれません。

さて、ロシアが世界大戦時代の価値観で、時代錯誤の戦争（=人殺し）を継続させています。ソ連時代の軍事大国の栄華を取り戻したいという価値観は日本人には全く理解できませんが、かと言って理解できぬで放っておくこともできない時代になってしまいました。世界を見て見ますと**イデオロギー（=歴史的・政治的な立場で構築された思想）で戦争する国、宗教対立で戦争する国、そして戦争で金儲けする国で溢れています**。平和に経済活動をして心身ともに豊かに暮らす、というのが私的には理想だと思うのですが、世界には異なる価値観がむしろ大多数を占めているようにすら思ってしまう。

この度の戦争で、日本の防衛体制はこのままでいいのかという議論が活発化しており、核兵器共有論まで出ています。私的には、このままでいいわけがないと思っています。日本が日本海を挟んで国境を接している国は、韓国、北朝鮮、中国、ロシアの 4 カ国です。**お隣の 4 カ国中 3 カ国が専制国家・独裁国家**で、暇さえあればミサイルをぶっ放す国、アメリカから世界の覇権を奪い取りたい国、日本を非友好国と宣言した戦争バッチ来いの国・・・日本は隣人に恵まれていません。それどころか**かなりヤバイ国に囲まれている**と言ってもいいでしょう。

「日本はアメリカが守ってくれるから大丈夫」という意見があります。でも**なぜアメリカが守ってくれるのか理解していない方も多**いです。アメリカはボランティアで日本を守ってくれるわけでありません。同盟国だからとか、そんな単純な話でもありません。

結局民主主義国家と専制主義国家のイデオロギー対立は冷戦が終わっても消えたわけではなく、アメリカから見ると、特に中国が太平洋に大きく進出してくることは脅威なわけですが、世界地図をアメリカ中心に見てみると、アメリカやロシアを太平洋より手前で食い止める前線ラインが、日本列島と見事に重なっています。逆に中国から見ても、太平洋の手前で日本列島がキレイに覆いかぶさってさぞ目障りなことでしょう。結論を言うと、**日本列島は「第三次世界大戦が始まった際の仮想最前線防衛ライン」だからアメリカは日本列島を（自分たちのために）守る**のです。守るのは日本列島であって日本人ではありません。アメリカが前線ラインをもっと後ろに下げざるを得なくなれば、アメリカは日本列島を投げ捨てて前線ラインをグアムやハワイ周辺まで下げるでしょう。そうなれば日本列島は現在のウクライナのマウリポリのような立場になるのではないのでしょうか。その時日本は自分たちの国を守りきれぬのでしょうか。